

### 生駒

生駒市議会の定数(24)と報酬(月額57万円)削減を  
求める市民の動きが相次いでいる。議会側もこの問題  
を議論しているが、結論は出ていない。背景には市民  
側と議会側の意識の隔たりがある。同市議は来年4月の統一  
地方選で改選される予定で、厳しさを増す市民の視線に対し、  
議会側がいかに説明責任を果たすかが問われている。

#### ◆市民側の動き

市民団体「見張り番・  
生駒(阪口保代表幹事)  
が定数6、報酬30%削減  
を目指し、15日まで署名  
活動を展開している。地  
方自治法に基づく条例改  
正の直接請求に向け、既  
に本請求に必要な署名数  
(有権者の50分の1)約  
2000を大きく上回る  
署名を集めている。

一方、「市議会議員の  
定数と報酬の削減を求  
める会」(池田司代表)  
も9月4日、定数4、報  
酬15%減実現のため、  
直接請求に取り組む方  
針を決めた。ただ、見張  
り番の署名数によっては  
独自の活動はしないとい  
う。

## 定数と報酬削減求め署名

#### ◆議会の対応

今月8日の議会改革に  
関する検討会で、議会活  
性化部会(7人)の約2  
年にわたる検討結果が報  
告された。定数は「2、  
4人の削減を考えるべ  
き」という付帯(少数)  
意見が付いたものの、人  
口規模などから現状維持  
とする内容だった。報酬  
は合意に至らず、「据え  
置き」「15%以上の削減」  
「引き下げを含め全議員  
で審議」などの意見を併  
記した。  
定数、報酬両方の削減

## 路和 密着

に前向きな会派は「市民  
派クラブ」(6人)だけ。  
改選に間に合わせるには  
12月議会で条例改正が必  
要だが、そんな状況には  
なっていない。

#### ◆隔たり大きく

市民の動きの背景に  
は、「報酬に見合う仕事  
をしていない」という議  
会への根強い不信感と、  
「財政状況が厳しさを増  
す中、市民に痛みや負担  
を課す前に自ら身を切る  
べきだ」という思いがあ  
る。

# 議会は市民への説明を



ハンドマイクで署名を呼びか  
ける「見張り番・生駒」の阪  
口保代表幹事一生駒市の近鉄  
生駒駅前で9月16日

見張り番の駅前での署  
名活動では、自ら足を向  
け、署名する人が目立つ。  
40代の女性は「生駒は文  
化への投資が少ないと感  
じる。元議長の汚職事件  
に関し議会の責任は大き  
く、緊張感を持ってほし  
い」と語った。  
実現しない。しかし、改  
選を控えた議員にとっ  
て、市民の署名は大きな  
「外圧」となる。市議会  
が市民への説明責任を果  
たし、「かい離」を埋め  
て理解を得る努力をする  
か。市民は注目している。

本会議や常任委員会な  
ど正式な会議時間数だけ  
で「時給7万円と高額」  
と主張する見張り番に対  
し、議会側は「議員活動  
が分かっている」と強  
く反発する。削減に賛成  
の議員も「多くの市民に  
議員の仕事や姿が見えて  
おらず、議員と市民意識  
のかい離が大き過ぎる。  
耳に心地よく響く見張り  
番の主張に危うさを感じ  
る」と話す。  
直接請求による条例改  
正案は議会が否決すれば